慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	2019年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果
Sub Title	
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2019
Jtitle	Library and information science No.82 (2019.) ,p.58- 58
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000082-0058

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果

ベスト・プレゼンテーション賞は，研究大会における口頭発表の中から，優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は，口頭発表では，決められた時間の中で，研究の内容を正確に伝え，また，聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし，説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること，さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2019年度は，前年度に引き続き，学生・大学院生としての所属を明示した登壇発表者を対象に，研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づき，プログラム委員の合議により授賞者を選出しました。

2019年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者
橋詰秋子君（慶應義塾大学大学院）
発表題目：目録規則における Aggregate:「著作」の観点を中心に

細部の簡略化などの工夫も含めて，複雑さをもつ内容を的確にまとめ説明していたこと，スライドの文字や図形等の色の区別を効果的に使用するなどして，スライドを分かりやすく構成していたこと，および質疑において的確に回答していたことなど，プレゼンテーションの技法と態度において優れていたものと評価されました。

なお，受賞した発表スライドの PDF 版を学会ウェブサイトで公開しています。